

新しいランク振分け案(検討のたたき台)

区分案		ランク間指数格差			ランクの個数				移動県		分散度合		特徴
		A-B	B-C	C-D	A	B	C	D	上昇	下降	B	C	
案1	Y1	1.6	0.1	0.6	5	10	15	17	C→B 茨城	B→C 長野	1.0	1.2	<ul style="list-style-type: none"> ・平成12年にBランクに上昇した長野県がCランクに下降する ・BランクとCランク間の格差が小さい ・C・Dランクの道府県数に変動する
	Z1								D→C	C→D 福島			
案2	Y1	1.6	0.1	0.4	5	10	16	16	C→B 茨城	B→C 長野	1.0	1.4	<ul style="list-style-type: none"> ・平成12年にBランクに上昇した長野県がCランクに下降する ・徳島県がCランクに上昇する ・BランクとCランク間の格差が小さい ・各ランクの道府県数に変動しない ・Cランクの分散度合いが比較的大きい
	Z2								D→C 徳島	C→D 福島			
案3	Y2	1.6	0.4	0.6	5	11	14	17	C→B 茨城	B→C	1.0	1.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ランク変動県数が最も少ない ・ランク間格差がBC間、CD間ともに最大 ・B～Dランクの道府県数に変動する ・Cランクの分散度合が最小
	Z1								D→C	C→D 福島			
案4	Y2	1.6	0.4	0.4	5	11	15	16	C→B 茨城	B→C	1.0	1.3	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県がCランクに上昇する ・B・Cランクの道府県数に変動する
	Z2								D→C 徳島	C→D 福島			

